

オランダ大使らが『アンネ・フランク展』を視察

7日(水) 杉並区立中央図書館に、オランダ大使ら5名が訪問し、2日から始まった『アンネ・フランク展』を視察しました。この展示は、アンネの関連書籍が引き裂かれる事件を風化させず、差別を無くし平和の尊さを改めて考える機会にしようとするものです。展示品の中には、オランダにあるアンネ・フランク・ハウス財団から寄贈された図録とアンネ一家の隠れ家のミニチュアハウスもあり、本日の大使らの視察となりました。

今年2月、都内各地の公共図書館などで、アンネ・フランクに関連する書籍が引き裂かれるという大変残念な事件が起こり、中でも杉並区は11館で121冊という多大な被害を受けました。このアンネ関連本の引き裂き事件は、国内だけではなく、多くのメディアを通じて、世界中に配信されました。その結果、3月8日、オランダ・アムステルダムに本拠地のあるアンネ・フランク・ハウス財団の訪問により、温かいメッセージと財団が発行の図録やアンネ一家の隠れ家のミニチュアハウスの寄贈を受けました。このほかにも、全国の多くの市民やさまざまな団体から、差別を無くし、平和を願うメッセージやアンネの関連書籍が寄贈され、その数は182冊にもなりました。

こうした多くの方々からの支援に対する感謝の意を表すとともに、今回の事件を通じて、差別や平和を考えるきっかけにしておらうと、2日から『アンネ・フランク展』を開催しています。

7日15時、オランダ大使館の訪問団が到着。訪問団は、ラーディンク・ファン・フォレンホーヴェン特命全権大使とアリエン・ファン・デン・ベルグ全権公使(政治部)のほか報道・文化参事官など総勢5名で、展示された書籍や図録、写真などを視察しました。ラーディンク・ファン・フォレンホーヴェン特命全権大使は、視察後、杉並区の井出隆安教育長との懇談の中で、「多くの方々から図書の寄贈があり、改めてアンネの思いが大切にされていることを知りました。また、アンネ・フランクの思いを伝えるこのような展示をしてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。」と話していました。



中央図書館展示『アンネ・フランク展』

【日 時】5月2日(金)～9月3日(水) 第1・3木曜日休館(祝日の場合は、翌平日休館)

月曜日～土曜日:午前9時～午後8時、日曜日、祝日:午前9時～午後5時

【場 所】杉並区立中央図書館1階(杉並区荻窪3-40-23)

【内 容】アンネ・フランクに関連する書籍や寄贈本、資料等の展示

【関連企画】6月15日(日)午前10時に、高井戸中からのアンネのバラの株分けに伴い、移植式を開催します。また、当日は映画「アンネの追憶」の上映を行います。